

第2回北大阪健康医療都市産学官民連携プラットフォーム構築支援業務
委託事業者選定会議 議事要旨

1 日時

令和2年10月26日（月）15時00分～15時15分

2 場所

吹田市役所 低層棟3階 入札室

3 出席者

地域自治推進室長、地域経済振興室長、シティプロモーション推進室長、保健医療室長及び健康まちづくり室長

4 案件

- (1) 委託候補者等の選定について
- (2) その他

5 議事概要

- (1) 事務局が出席者数の確認（委員5名全員）を行い、要領第5条第2項に定める定足数を満たし、本会議が成立していることを確認した。
- (2) 次第及び各案件について、資料に基づき事務局から説明を行った。
 - ① 外部有識者を含む委員により構成される部会において、10月21日に各応募者からプレゼンテーションを受け、採点を実施。
 - ② 事務局にて採点結果を集計したところ、1位と順位付けした委員数が多い順に、B社、A社、C社、D社となったことを報告。
 - ③ 募集要項に従い、1位と順位付けした委員数が最も多いB社を委託候補者とする事、2番目に多いA社を次点者とする事を全会一致で確認。
- (3) 各事業者からの提案等について、以下のとおり質疑応答があった。

【委員】

応募のあった4社はそれぞれ類似業務の実績があると思うが、そのなかでもB社は期待するような実績があったのか。

【事務局】

対市民の部分、産学連携の部分いずれかに強みを持った応募者も見受けられたが、B社はいずれの要素にも強みを持っている印象。本事業は産学連携に加え、市民を巻き込んでいくリビングラボ的のところも大きな柱。B社はリビン

グラボについて企業目線ではなく、地域課題をビジネスにつなげていき、最終的に市民に還元するという考えを持っており評価されたのだと思う。A社は産学連携寄り、C社は逆にそこが弱く、市民向けがメイン。Dは具体性がなく、健都の特長を踏まえていない内容。

以上